

展示委員会

展示委員会は、JIRA の中核事業である展示事業における計画立案を司り、事務局と協力し円滑な展示会運営を推進する。

画像医療システム産業の外部環境変化に対応し、業界の発展に資する魅力ある展示会の企画を立案する。

2020 年度の活動としては、新型コロナウイルス感染拡大のため、将来を見据えた Web 展示開催として ITEM の継続を図る。日本核医学学会併設展示会も含めて出展社・来場者に対して各々が参加し易く、且つ、より有用な展示会となることを目指して以下の施策を実行していく。

- ◆ 出展募集及び出展要項を展示規程、展示運営細則に則って見直し、展示会の着実な運営を行う。
- ◆ 次年度に向けて小間割抽選会や出展社の各種提出物などの事前準備を強化する。
また、2020 年以降中期計画として外部環境の変化をくみ取りながら以下の事業活動に注力する。
- ◆ 来場者、出展社の利便性を高める来場者情報の完全なデジタル化を図る。
- ◆ 画像医療システム産業の進化に合わせ、AI をはじめとする IT 系スタートアップ企業や海外企業などに国際医用画像総合展への参画を募り、来場者へ新たなカテゴリーの情報を提供する。
- ◆ 次世代超高速通信時代に向け、会場へ足を運べない方への対応策として、Web サイトを活用したバーチャル展示会やサテライト会場を提供し、展示・セミナーなどのリアルタイムで相互コミュニケーションを可能とするような新たな構想を図る。
- ◆ 企画立案を強化するための人材育成に注力する。

1. 展示会の運営及び企画・準備

- (1) 2020 年国際医用画像総合展 (Web 開催 時期未定) 開催運営
 - ◆ 出展社にとって価値ある Web 展示会場づくり。
 - ◆ 来場者が参加し易い魅力的な Web コンテンツの作成
 - ◆ JIRA 特定テーマ展示・プレゼンテーション・企画コーナーを設け JIRA ならではの企画をする。
- (2) 第 60 回日本核医学会学会/第 40 回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示会 (神戸、11 月 12 日～14 日) 開催運営
- (3) 2021 年国際医用画像総合展の企画、準備
 - ◆ 展示実施要項の見直し、作成
 - ◆ 小間割レイアウト決定作業
 - ◆ 小間割抽選会の準備、開催、小間割決定
 - ◆ 各種提出物の中でレイアウト図面について屋根構造、セットバック、ナレーター立ち位置、ステージ高さ、ステージ前スペース、隣接ブースの展示ブース高の違い確認、2F 構造の有無についてチェック、問題あれば是正勧告を実施
 - ◆ JIRA 企画コーナーを設営。企画、募集、ブースレイアウト、事前告知、運営などに協力
 - ◆ JIRA 活動 PR ブースの企画、設営、運営などに協力
 - ◆ AOCR2021 同時開催への対応

2. 展示関連の課題について、解決・改善を図る。

- (1) 国際医用画像総合展の小間抽選会の時間短縮及び内容の簡素化、要項のわかりやすい解説
- (2) コンプライアンスの徹底・・・薬機法及び個人情報保護法、展示要項
- (3) 各展示会場でのセキュリティ対策実施・・・開催時及び据付・撤収の際の部外者侵入対策
- (4) 展示会実施に向け各展示会の運営要項を見直し、出展各社が公平にしかも実効性のある参加ができるように努める。
- (5) 国際医用画像総合展の反省事項を踏まえ、JRC 合同実行委員会へより良い展示会開催を目指して提言を行う。
- (6) 企画コーナーの設営などで、集客・参加企業の機会均等を図ることを目指す。

- (7) 災害時、緊急時対策の実施（避難経路、避難誘導灯の確保・告知、スタッフ訓練実施など）
- (8) 国際医用画像総合展会場の各出入口で見学者の入退場者数を調査。この結果をもとに、参加企業各社により公平な会場小間割スペースを提供できるよう動線の工夫を行い、全体最適を目指す。
- (9) IC タグなどを利用した入場システム導入の検討及び入場者数のリアルタイム把握と情報の参加企業への提供サービスの検討